

高次口腔医療センターに通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] クローズドロックに継発する前歯部開咬の臨床的特徴

[研究機関] 北海道大学病院高次口腔医療センター

[研究責任者] 山口 泰彦（高次口腔医療センター顎関節症治療部門・准教授）

[研究の目的]

顎関節症の開口障害（クローズドロック）後に起こることがある咬み合わせの変化の特徴を明らかにし、咬み合わせの変化の予防法や治療法の確立に役立てる。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成6年10月1日から平成25年6月30日の間に顎関節症の検査を受けた顎関節症患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果（画像検査、咬合接触検査）、治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院高次口腔医療センター 担当医師 山口 泰彦

電話 011-706-4386 FAX 011-706-4386